

CHECK DRILL**総合問題演習・第20回**

次の各文の空所に入る適語を、下の①~④の中から1つ選びなさい。但し、下線が引いてある場合には、同じ意味を表す語句を1つ選びなさい。

- (1) I took her () her sister. They look so much alike.
 ① after ② by
 ③ for ④ in (関西学院大)
- (2) Robert was so busy he had to () an invitation to play golf.
 ① turn down ② do with
 ③ look over ④ give out (同志社大)
- (3) We asked many persons about the new store, but no one had heard () it.
 ① by ② from
 ③ of ④ to (青山学院大)
- (4) I want to do it for the () of creating interest in young people.
 ① desire ② motive
 ③ cause ④ sake (東京家政大)
- (5) I'll give you five minutes to () out this problem.
 ① answer ② solve
 ③ work ④ find (慶應大)
- (6) The children () for the summer holidays.
 ① wanted ② anticipated
 ③ expected ④ longed (中央大)
- (7) "I've been living () since I entered university, and I've had to learn to cook.
 ① by oneself ② for myself
 ③ on my own ④ with only one (センター試験)
- (8) Three days is very little time to () all the sights of London.
 ① look ② meet
 ③ do ④ stare (センター試験)
- (9) It is () to you whether we succeed or not.
 ① according ② depending
 ③ equal ④ up (中央大)
- (10) You had better ask the opinion of someone who is at home in the subject.
 ① looking into ② studying about
 ③ gathering data about ④ well acquainted with (駒澤大)

日本文の意味を表す英語になるように与えられた語句を並べ替えなさい。

- (11) この世に戦争がまったくない時代を想像できますか。
 Can (a time / free / imagine / is / of / the world / war / when / you)?
 (愛媛大)
- (12) 私は彼が成功するのは当然のことと思っていました。
 (for / granted / he / I / succeed / that / took / would / it).
 (明星大)
- (13) 弁論大会で優勝されておめでとうございます。(1語不足)
 (prize / in / winning / the / contest / speech / you / congratulate / I / first).
 (中央大)
- (14) あらしのために出発を延期した。(1語句不要)
 We (took off / to / our departure / owing / put off / the storm).
 (明星大)
- (15) 交通事故の大部分は運転者の側の不注意のせいだと言われる。
 It is said that most of the traffic (carelessness / on / part / are / due / to / accidents / the) of the drivers.
 (近畿大)
- (16) 彼らが何をしようとしていたかまったく知らなかった。
 I (ignorant / intended / of / quite / they / was / what) to do.
 (梅花女子大)
- (17) 彼はそのファッションショーに行くつもりはないと、きっぱりと彼女に言った。
 He told (all / and / for / go / he / her / once / that / wouldn't) to the fashion show.
 (立命館大)
- (18) 彼はそのクラスの担任の先生です。
 He is the (of / teacher / charge / the / in) class.
 (駒澤大)
- (19) Bobby's contented smile made us (up / he / was / what / wonder / to).
 (立教大)
- (20) You must see (it / that / harm / to / no) comes to her.
 (慶應大)

(1)③
△彼女のことを間違っただけで彼女の姉妹だと思ってしまった。2人ともとても良く似ていたからだ。
◆慣用表現 = take A for B で「間違っただけでAをBだと考える」。「AをBだと考える」についてはココ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=2493>) を参照すること。

(2)①
△ロバートはとっても忙しかったので、ゴルフの招待を断らねばならなかった。
◆慣用表現 = turn down A で「A (要求・提案・申し出) を断る、辞退する、拒否する」。reject や refuse に書き換えができる。
▽彼はとてもよい申し出を断った。
He **turned down** a very good offer.
= He **rejected [or refused]** a very good offer.

(3)③
△たくさんの人にその新しい店について尋ねたが、だれもその店を聞いたことがなかった。
◆慣用表現 = hear of A で「Aのことを伝える、耳にする」。ほぼ hear about A と同じ意味。一方、hear from A だと「Aから便りがある」となる。hear by とか hear to の表現はない。

(4)④
△若者達に興味を持ってもらうために、私はそれをやるつもりである。
◆慣用表現 = for the sake of A で「Aの(利益の)ために」。sake も good も benefit も「利益」の意味があるので、for the good of A とか for the benefit of A でも同じ意味。ほぼ同じ意味なのが「A (の目的の) ために」の for the purpose of A や with a view of A。これについてはココ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=1257>) や <http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=1295> を参照しておくこと。

(5)③
△この問題を解くのに5分あげましょう。
◆慣用表現 = work out A は「A (問題、謎、パズル) を解く」で solve A と同じ意味。「問題を解く」から「上手くゆく」とか「何とかなる」の意味が派生する。
▽僕らの計画は上手くゆかなかった。
Our plan didn't **work out**.

(6)④
△その子は夏休みが待ち遠しかった。
◆慣用表現 = long for A で「Aを待ち焦がれる、Aを切望する」の意味。日本語にも「首を長くして待つ」という表現があるように、英語の long も同じこと。「ここにはないモノ、欲しいモノを指さす for」に付いてはココ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/files/2011/04/e490525ddbef76385cfa924a269e4205.pdf>) を参照のこと。

(7)③
△僕は大学に入ってからずっと一人暮らしをしているので、料理を覚えなくちゃならない。
◆慣用表現 = live on one's own で「一人暮らしをする」とか「独り立ちをする」。live on A なら「Aを常食とする」とか「Aを餌とする」、「Aで暮らしを立てる」の意味になる。
▽普通、牛は草を常食としている。
Usually cows live on grass.
▽彼の給料では暮らしが立たない。
His pay is not enough to live on.

(8)③
△ロンドンを全部見て回るには、3日間はあまりに短すぎる。
◆慣用表現 = do the sights of A で「Aを見物する」。

(9)④
△成功するかどうかは、君次第だ。
◆慣用表現 = It is up to 人 whether S+V で「SがVするかどうかは人しだいである」の意味。他にも It is up to 人 to do or not でも同じ意味が表現できる。

(10)④
△君はその事に精通している人に意見を求めた方がよい。
◆慣用表現 = 人 is at home in 事で「人は事に通じている」とか「人は事に詳しい」。一方、feel at home になると「くつろいだ気分になる」の意味になる。feel at ease とも言う。

(11)Can [you imagine a time when the world is free of war] ?
◆慣用表現 = A is free of B で「AはBがない」。A is free from B との違いはココ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=827>) を参照しておいてください。

(12)I took it for granted that he would succeed
◆慣用表現 = take it for granted that S+V で「SがVすることを当たり前だと考える」。it は that 以下を指す形式目的語。

(13)I congratulate you on winning first prize in the speech contest (on 不足)
◆congratulate の語法 = congratulate 人 on 事で「事で人を祝う」の意味。「4文型のように4文型でない動詞」についてはココ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=4113>) を参照のこと。

(14)We [put off our departure owing to the storm]. (took off 不要)
◆慣用表現 = put off A で「Aを延期する」、owing to A で「Aが理由で・原因で」。「Aが理由で・原因で」の表現についてはココ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=1331>) を参照しておくこと。

(15)It is said that most of the traffic [accidents are due to carelessness on the part] of the drivers.◆慣用表現 = It is said that S+V で「SがVすると言われている」、A is due to B で「AはBが原因である」。due が「お金を支払う義務を負う」や「人の恩義を負う」の意味を持つことはさっきの所に書いてあったね。

(16)I [was quite ignorant of what they intended] to do.
◆慣用表現 = 人 is ignorant of 事で「人は事を知らない」。of は about と同じ「関連の of」。what S+V は間接疑問文で、「何をSがVするかということ」。intend to ~ は助動詞で「~するつもりだ」。

(17)He told [her once and for all that he wouldn't go] to the fashion show.
◆慣用表現 = once and for all で「きっぱりと」。tell+誰に+何を(that文)の「誰に」の直後に once and for all が来るのはE Tの法則。つまり、that+文の方が once and for all よりも重たいから。that + 文が来なければ文末に来る。E Tの法則についてはココ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=5444>) や <http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=5459> を参照のこと。

▽僕はそのことを彼女にキッパリと言った。
I told her that **once and for all**.

(18)He is the [teacher in charge of the] class.
◆慣用表現 = in charge of A で「Aを管理している」。

(19)Bobby's contented smile made us [wonder what he was up to]
△ボビーの満足そうな笑顔を見て、僕は彼が何を企んでいるのかしらと思った。
◆慣用表現 = 人 is up to something で「人が何か良からぬ事を企む」。made us wonder ~ で「ボビーの満足そうなほほ意味が僕らに~かしらとおもわせた」。wonder の直後は間接疑問文で what he was up to は「彼が何をたくらんでいるのかということ」

(20)You must see [to it that no harm] comes to her.
△君は彼女に何も悪いことが起こらないように面倒を見なければならぬ。
◆慣用表現 = see to it that S + V で「SがVするように取りはからう」。